

# 平成30年度 復興庁被災者支援コーディネート事業 心の復興事業・事例共有発表会 プログラム

新たに心の復興への取り組みを開始したい、取り組みを拡大したい支援者や地域の方に、“心の復興のつどい”に参加の各団体が、これまでの取り組みや、取り組みを開始・拡大するためのヒントを紹介します。

どなたでも参加できます  
途中参加OK!

## 事例発表団体

### 新地町

新地町は、福島県浜通り最北端に位置する、面積約46キロ㎡、人口およそ8,000人のコンパクトな町です。東日本大震災により、町の面積の約2割が津波で浸水し、630世帯が被災、119名が犠牲となりました。住まい再建事業はほぼ終息し、現在は、駅周辺地区の施設整備や防災緑地の建設などが終盤を迎えています。心の復興事業やコミュニティ形成支援事業といった被災者支援事業には、平成28年度から取り組んでいます。

### 特定非営利活動法人ビーンズふくしま (★ワークショップも開催中)

「特定非営利活動法人ビーンズふくしま」は、困難な環境に置かれている子ども・若者を支援している団体です。東日本大震災後は、仮設住宅での子どもの居場所づくりや学習支援、県外に避難した方の交流会等の実施や相談、県内で子育てをする母親のケア、復興交流拠点での各種イベントや文化活動・体験活動などを行っています。

本日は、心の復興事業で取り組んでいる「復興交流拠点みんなの家セカンド」で取り組んだ、「大人の部活」での作品展示や、これまで取り組んだ交流企画を中心にをご紹介します。

### 特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会 (略称：SOAT) (★同)

東北の造形作家を支援する会では東北に縁のある芸術家の創作活動及び発表活動を支援する団体です。大震災翌月から被災者支援にも力を入れています。今回は昨年度と今年度、東北3県で実施したワークショップの紹介並びに福島県内の被災者の方々の手作り作品の展示・販売を行っています。被災者の前向きな姿をぜひ、感じ取っていただけたら幸いです。

### 特定非営利活動法人ザ・ピープル (★同)

特定非営利活動法人ザ・ピープルは、住民主体のまちづくりを目指し、いわき市を拠点に1990年から古着リサイクル活動などに取り組んできた団体です。東日本大震災後は、被災者・避難者の支援事業や、耕作放棄された農地でのコットンの有機栽培である「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」などを行っています。心の復興事業として、地域内外で進める「農業を通じたコミュニティ再生」の取り組みをご紹介します。

## プログラム

13:00～	開会挨拶 (復興庁復興庁ボランティア支援班・男女共同参画班)
13:05～	開催趣旨 (株三菱総合研究所)
13:10～	事例発表1：新地町
13:30～	事例発表2：特定非営利活動法人ビーンズふくしま
13:50～	事例発表3：特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会 (略称：SOAT)
14:10～	事例発表4：特定非営利活動法人ザ・ピープル
14:30～	ミニ・パネルディスカッション (4団体)
15:05～	会場からの質疑
15:25～	まとめ・閉会 (15:30)

【南相馬会場】2月9日(土) 13:00～15:30 野馬追通り銘醸館二番蔵 (南相馬市原町区本町)

【いわき会場】2月23日(土) 13:00～15:30 いわきら・ら・ミュウ (いわき市小名浜)

主催：株式会社三菱総合研究所 (平成30年度 復興庁被災者支援コーディネート事業 事務局)